

令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 社会 】
発行者名 【 東京書籍 】
教科書名 【 新しい社会 】

観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
(1) 側注に毎時間の学習問題やアニメのキャラクターの吹き出しなどを具体的に示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を踏みながら単元を進める展開になっており、見通しをもって学習できるような構成・配列が見られる。 (2) 各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「学び方コーナー」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。 (3) 社会的事象がとらえやすい資料が用いられており、資料を活用しながら問題解決的な学習を進めることができる。それにより、社会生活や社会の仕組みについて理解することができるような工夫がなされている。 (4) 3、4年生では、「調べること」「調べ方」「まとめ方」という調べ学習の進め方や調べるための視点が示され、5、6年生では、「調べること」という調べる視点が掲載されるなどして、自主的に学習を進めることができる工夫がされている。
観点2 内容や指導の充実
(1) アニメのキャラクターが目印の「見方・考え方」のコーナーを設け、本時学習の際の手がかりとなる視点を提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。 (2) 学習上重要な用語を「ことば」として提示したり、学習場面に応じた学び方が分かる「まなび方コーナー」を設けたりすることで、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。 (3) 「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において自分にできることを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。 (4) 単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が興味・関心をもち、さらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。 (5) 現代社会でも取り上げられている、「地震」に関する資料がどの学年にも盛り込まれている。
観点3 利便性の向上
(1) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。「まとめる」段階に学習問題を再提示したり、単元で出てくるキーワードが示された「ことば」欄を配置したりし、学習内容を振り返りやすい工夫がなされている。 (2) 「Dマークコンテンツ」が活用でき、学習内容に応じたクイズや動画、公的機関のホームページへのリンクが紹介され、さらに学習を深めることができる工夫がなされている。 (3) 各種資料等については、アニメのキャラクターを使用し、「見方・考え方」が一目で分かる工夫がなされている。また、文字の大きさ、本文と資料を区別できる構成など、児童が見やすく読みやすいような配慮がなされている。 (4) 巻末のさくいで、「ことば」「地名」「国名」と分野ごとに分けられており、児童が調べ学習をする際に、調べやすい工夫がされている。 (5) 学び合いの方法や内容が、キャラクターのやり取りによって説明されており、どのように意見を述べればよいかを理解しやすくなっている。
観点4 地域の教育の特色や児童の実態等
(1) 農畜産物や防災など、本県の様子やデータを取り扱っており、児童が興味をもって学習に取り組めるようになっている。また、取り扱われている資料は、ハザードマップやきゅうり等の農産物であることから児童の身近であり、さらに関心を高めることができるようになっている。